

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 放課後等デイサービス翠(みどり)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容や静の活動、動の活動を工夫しながら行っています。	感覚過敏に対して、環境調整できるようにしています。環境的に聴覚過敏に対しての環境が難しいが工夫しながら行っています。
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士・児童指導員・リハスタッフを配置しています。	保育士・児童指導員・理学療法士・言語聴覚士を適切に職員を配置しています。心理担当職員の配置も決まっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車椅子の使用ができています。バリアフリーとなっています。	福祉車両は2台あり、デイの中でも車椅子での利用が可能となっています。車椅子の利用者も利用しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		利用者1人1人に客観的な評価を行っています。	情報共有や事例検討を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		実施しています。	アンケート内容を真摯に受け止め、支援の質の向上に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		実施しています。	HPにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	実施していません。	R6年度から検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的実施しています。	研修会や学会(ZOOMも含め)に定期的に参加し、文献抄読も行っていきます。研修会に対しましては、会社が補助を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ニーズを重視しながらサービス計画を作成しています。	評価は数字で表せるように、客観的に評価しております。5領域も評価しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用しています。	専門職種が項目ごとに認知されたアセスメントツール使用し評価しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日、ミーティングを行い日や月の計画を立案しています。	専門職種が意見を出し合いながら、個別・集団活動のプログラムを立案しています。エビデンスレベルでのプログラムを立案する様に心掛けています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々の能力に合わせてながら、固定化されないように注意しています。	発達レベルに合わせてながら、評価を統合し、必要な活動プログラムを行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日・平日共に考えながら評価している	休日は、屋食がある為、実際の食事場面で食事動作練習を行ったり、個別や集団活動を充実する対応をとっています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		組み合わせを行っています。	毎日、個別活動と集団活動を行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、ミーティングを行っています。	毎日、その日の流れや役割を確認し、書面に書いています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後には、振り返りを行っています。	支援終了後に振り返りを行い、良かった点や改善した方がよい点を話し合っています。話し合ったことは、書面と支援ソフト内に残しています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は毎日とっています。	支援記録記録を作成しています。検証・改善は今後も適切に行い記録します。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		適切にモニタリングを行い、計画の変更を行っています。	スタッフ間のミーティングや家族に話を聞き、個別計画の目標や支援内容を随時話しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		複数の支援を組み合わせて行っています。	個別計画に合わせながら、生活動作・運動・感覚・認知・社会性・コミュニケーション等のスキルが向上するような活動を取り入れ支援を行っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席しています。	担当者会議は、児童発達支援管理責任者が参加し、評価・支援・様子などの内容を発信しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校と密に情報共有し、より良い支援を目指しています。	学校等とは、送迎時・担当者会議・電話等で常に情報共有を行っています。評価内容は書面にし、提供し情報共有に努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケア児を受け入れていません。	医療的ケア時を受けいていませんが、今後受け入れる事があれば、主治医等との連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		情報共有を行うように努めています。	ライフステージに沿って、縦の連携を行っています。また、訪問看護・児童発達支援事業所・病院などと現在の状態や今までの経過の情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	必要性に応じ対応します。	学校を卒業したご利用者が居ません。今後、卒業する利用者が居る場合は、情報を提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関との連携に努めています。	その都度、専門機関と連携し助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		障がいのない子どもと活動する機会を作っています。	地域の公園で活動を行い、障がいのない子どもと活動できるように努めています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		地域実支援協議会等への参加に努めます。	重心・医ケアねっどに参加しています。BASE会議にも参加予定です。今後は、積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時・連絡帳・電話・SNS等で課題に対して共通理解を持っています。	適宜、ご家族と話をし、課題や上手くいった事の情報共有を行い、適切な支援を行っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		自宅訪問・連絡帳・電話・SNS等にて行っています。	ご相談があった際は、自宅訪問・連絡帳・電話等にて適切に助言しています。その際は、専門的な視点から話をさせて頂いています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学や契約時に行っています。	見学や契約時に、丁寧に説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		自宅訪問・連絡帳・電話にて助言を行っています。	子育ての悩み等の相談があった場合は、自宅訪問・連絡帳・電話にて行っていますが、できるだけ、直接お会いして話をするようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母会は行っていません。	感染症があり行っていませんが、同法人の訪問看護事業所と連携し、保護者会の検討を行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		何かあれば迅速に対応するようにしています。	苦情等があれば、電話等で対応できるようにし、迅速に解決できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSにて発信しております。	活動状況等はSNSにて発信しています。今後も、より良い情報を発信します。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
35	個人情報に十分注意している	○		個人情報は十分に注意しています。	個人情報は十分に注意し、情報や写真の掲載には同意書をとっています。
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝わりやすいように配慮しています。	視覚情報を使用したりと、情報理解が行いやすい方法にてコミュニケーションを行っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		実施している。	感染症でできていないが、法人内に地域活動委員会を設置し、カフェや講師を呼んでの講演会を行っていました。今後も行っていく予定です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルや感染BCPの作成を行っています。	保護者には契約時に説明しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害に備えた話し合いや訓練を行っています。災害BCPの作成を行っています。	水消火訓練や通報訓練を実施しています。防災センターの見学を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待の研修会を行っています。虐待委員会を設置しています。	虐待の研修会に参加や話し合いを行い、虐待に対する知識や虐待防止を行っています。R6年度は外部講師を呼び研修会を予定しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束を行う利用者様を受け入れたことがあります。	身体拘束を行う利用者様がいませんが、身体拘束が必要となる場合は、説明と同意をとった上で、個別支援計画書に記載し対応します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	医師の指示では行っていません。	アレルギーの有無は契約前に確認しています。医師の指示ではなく、ご家族の情報を基に対応しています。アレルギーの情報収集は確実にを行い、食事やおやつ時に注意しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		安全管理委員会を設置しています。	ミーティングの中で情報共有しています。また、法人内に安全管理委員会がありますので、会議に参加しています。